# 令和6年度

# 社会福祉法人楽笑　事業報告書

（自）令和6年4月1日

（至）令和7年3月31日

〒443-0021　愛知県蒲郡市三谷町須田10番地68

社会福祉法人楽笑　理事長　小田泰久

## 社会福祉法人楽笑　経営理念

SHINKAを楽しめ。
SHINKAを笑え。

## 基本方針

一人ひとりの未来を想像し、次なる飛躍に向けて新しい価値を共創する。（新化）
仲間と共に経験し、仲間と共に学び続け大きく成長する。（進化）
様々なケースに対応できる、質の高い支援力を追求する。（深化）
誰もが共に生きる社会を普遍的なものにする。（真価）
心に感じる喜びと豊かさを共に分かち合う縁を構築する。（心価）

## 法人の事業

【第二種社会福祉事業】
障害福祉サービス事業の経営
障害児通所支援事業の経営
一般相談支援事業の経営
特定相談支援事業の経営
障害児相談支援事業の経営

## 職員行動理念

年齢や経験関係なく、お互いを想いあい、助け合い、議論しあえるチームとなる。
全ての物事に関し、自分ごととして捉え、どうやったらできるか、常に前向きに成果を出すチームとなる。
相手の立場にたって考動し、人を大切にする職員となる。

令和6年度理事会の開催

| 開催年月日 | 審議事項 | 出席者 |
|---|---|---|
| 第1回<br>R6/5/28 | 第1号議案　令和5年度各事業報告、決算書類に関する件<br>第2号議案　令和6年度補正予算に関する件<br>第3号議案　評議員の候補者選任に関する件<br>第4号議案　理事・監事候補者の選出に関する件<br>第5号議案　定時評議員会の開催に関する件<br>第6号議案　ボランティア受入れ規程に関する件<br>第7号議案　講師及びボランティア旅費交通費規程の変更に関する件<br>第8号議案　役員報酬規程の変更に関する件 | 理事　6名<br>監事　2名 |
| 第2回<br>R6/6/18 | 第1号議案　理事長　業務執行理事の選任に関する件 | 理事4名<br>監事2名 |
| 第3回<br>R6/11/11 | 第1号議案　令和6年度第二次補正予算に関する件 | 理事5名<br>監事2名 |
| 第4回<br>R7/3/13 | 第1号議案　　令和6年度補正予算に関する件<br>第2号議案　令和7年度事業計画に関する件<br>第3号議案　令和7年度予算に関する件 | 理事　6名<br>監事　1名 |

令和6年度評議員会の開催

| 開催年月日 | 審議事項 | 出席者 |
|---|---|---|
| R6/6/18 | 第1号議案　令和5年度計算書類に関する件<br>第2号議案　理事及び監事改選に関する件<br>第3号議案　役員報酬の変更に関する件 | 評議員　6名<br>理事　2名<br>監事　2名 |

令和6年度評議員選任・解任委員会の開催

| 開催年月日 | 審議事項 | 出席者 |
|---|---|---|
| R5/6/19 | 第1号議案　評議員の選任の件 | 外部委員　1名<br>監事　2名<br>事務局員　1名<br>理事　2名 |

令和6年度監事監査の開催

| 開催年月日 | 審議事項 | 出席者 |
|---|---|---|
| R7/5/21 | 法人監事による監査 | 三田監事<br>山本監事 |

■令和6年度社会福祉法人指導監査
なし

【本部拠点区分】
上記報告に加えて取り組んだ事項に関して別紙のとおり報告いたします。

【日中支援センター禄兵衛拠点区分】
日中支援センター禄兵衛
日中支援センター八兵衛
相談支援楽翔
短期入所休兵衛

【キッズサポートセンター千兵衛拠点区分】
キッズサポートセンター千兵衛’sインク
キッズサポートセンター千兵衛’sインク

事業部名：総務部

１．サービス提供方針：私たち総務部は、全職員ひとりひとりが最大限の力を発揮できる環境づくりと、適正な経営・サービス運営が行われる法人であるよう取り組む。

２．ガバナンスの強化

内容：最新の情報と用途にあった情報提供ができる状態にある

結果：HPは採用ページおよびお知らせ等を随時更新。インスタグラムは各部署で実施。パンフレットは利用者、求職者、そのほかすべてにおいてわかりやすいものが望まれるが、他業務を優先し更新は未実施。

成果：ホームページからの応募は2名。他サイトからの応募でも、ホームページ及びインスタグラムは皆さん見ている様子。

内容：管理者が社会福祉法人の経理の基本を理解し、収支管理が行える

結果：管理者へ経理規程の説明を行い、拠点区分、サービス区分などの仕組み、現金の処理に関する内容を確認し、日々のルールの大元の理解につながるようにした。社会福祉法人会計上の処理および事務ルールなどの見直しが必要な点が多々上がってきている。

成果：現場での業務を優先とし、収支管理は最低限となったが、部署により加算の取得なども含めて意識が身についた部分もある。

３．組織の活性化

該当なし

４．人材の採用、育成、定着

①採用

内容：採用活動における年間の動きが仕組化され、職員全員が参画意識をもちそれぞれの役割を全うできる

結果：日中活動支援部、児童通所支援部から2名ずつ出てもらい、双方でペアを組むことでお互いの事業理解や交流にもつながった。

成果：2名内定、1名辞退。1名は研修やアルバイトを実施し始めていたが、個人の事情により辞退となってしまい、2025年4月入社は0になった。2026卒に関しては現在内定1名。入社意思の確認もとれている。

②育成

内容：法人内の人材育成に関する取り組みの仕組が確立し、適切に運用されている

結果：人材成長支援プログラムは試行を行うが、想定通り評価する側の感覚でずれが出てしまう部分もあった。

成果：改善は継続して必要となるが、社会人としては支援者としてなど心がける部分が表記されることで、頑張るべきところが明確になったり、改善をお願いしたい点も根拠をもとに伝えやすくなった。

③定着

内容：職員からの声を吸い上げ、ニーズや課題に対し真摯に向き合い対応できる

結果：健康経営に基づくストレスチェックの実施は行ったが、独自のアンケートは未実施。主に常勤職員からの声と管理者側とのずれなどの調整を直接行ってきた。

成果：階層ができる中で、どこにずれがあるのかなどの把握にはつながった。現在の組織の状態から、アンケート形式はとりやめ、直接職員の声を吸い上げることが必要であると考える。

事業部名：日中活動支援部
＜利用実施内容＞
利用日時：月曜日から金曜日の 9:00～15:30。ただし、運営規程に基づき夏季休暇（8 月 13 日～15 日）、冬期休暇（12 月 30 日～1 月 3 日）、職員の研修日は 休日とする
年間稼働総日数　261日

就労継続支援B型

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 187 | 197 | 180 | 191 | 157 | 187 |
| 予算 | 1,188,378 | 1,188,378 | 1,188,378 | 1,188,378 | 1,188,378 | 1,188,378 |
| 実績 | 1,202,594 | 1,250,025 | 1,151,569 | 1,225,466 | 1,005,681 | 1,197,386 |
| 差額 | 14,216 | 61,647 | △36,809 | 37,088 | △182,697 | 9,008 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 203 | 186 | 178 | 178 | 174 | 186 | 2,204 |
| 予算 | 1,188,378 | 1,188,377 | 1,188,377 | 1,188,377 | 1,188,377 | 1,188,377 | 14,260,531 |
| 実績 | 1,302,340 | 1,190,023 | 1,144,217 | 1,140,496 | 1,344,017 | 1,436,656 | 14,590,470 |
| 差額 | 113,962 | 1,646 | △44,160 | △47,881 | 155,640 | 248,279 | 329,939 |

生活介護

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 517 | 507 | 495 | 497 | 419 | 484 |
| 予算 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| 実績 | 5,170,794 | 5,047,034 | 5,078,083 | 5,158,251 | 4,352,300 | 5,006,631 |
| 差額 | 170,794 | 47,034 | 78,083 | 158,251 | △647,700 | 6,631 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 536 | 500 | 467 | 484 | 476 | 509 | 5,891 |
| 予算 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 5,000,000 | 60,000,000 |
| 実績 | 5,410,135 | 5,106,936 | 4,763,717 | 4,902,541 | 4,779,617 | 5,144,057 | 59,920,096 |
| 差額 | 410,135 | 106,936 | △236,283 | △97,459 | △220,383 | 144,057 | △79,904 |

※実績値には処遇改善加算込み

**１．サービス提供方針：**私たち日中活動支援部は個々のできること得意なことに着目し、利用者一人ひとりの想いに寄り添い、支援を行います。また、地域における公益的な活動を通じて障害を持つ方の理解に繋げるとともに、地域の困りごとを仕事に変え、障害を持つ方の所得補償に繋げていきます。

**２．ガバナンスの強化**
内容：利用者の想いを汲み取るアセスメント・個別支援計画を作成してスタッフ全員で実践できている
結果：内部監査、愛知県実地指導で個別支援計画の内容の不備、改善点を明確にし、改善している。「〇〇さんの支援のポイントがスタッフによってバラバラで〇〇さんが混乱している」などの課題を受け、支援マニュアルを作成中。個別支援計画、スケジュール、支援のポイントなど個々で資料にまとめてファイリングしている。今年度作成しきれなかったため、次年度に引き継ぐ。
成果：個別支援計画の目標とその達成度をチェックする欄を利用記録に作った。チェック欄を作る前より個別支援計画を意識して支援に従事できるようになってきている。
内容：不足している知識・スキルを身につけ、学んだことを支援で実践、OJTできる
結果：研修で学んだことを現場支援で実践できるような仕組み、内容を考案することができず、次年度に持ち越し。
成果：なし
内容：利用者ひとりひとり生活ができるように安定した工賃を毎月支払いできる

利用者自身で取り組みモチベーションになる作業の仕組みづくりをする
結果：八兵衛の工賃はパンカフェの売上によるものが大半で、他の作業は生産性がないものが多くなっている。パンカフェの利用者には工賃を支払えるが、パンカフェ以外の利用者には作業した分支払う工賃が保障できていない。利用者にとって働く楽しみや工賃をもらうことで生活が豊かになれるように生産活動の構築を次年度おこなう。
成果：毎週金曜日に翌週の予定を確認、予定表の記入と目標を利用者自身で書く。自分で考え記入することで1週間の見通しをもち、目標を意識して作業をおこなった。
内容：近所の人と顔と名前を覚え、近所づきあいができている
結果：清掃活動を予定していたが、外出支援の基本や、利用者の声掛け等の伝達ができず、近所の公園の散歩に留まる。次年度、活動内で買い物、土曜日出勤で施設等外出をおこなう。外出支援での支援者の立ち位置等の基本の伝達や、想定される動き等をシミュレーションして準備するなどをおこない、外出先で利用者が見通しをもって安心して楽しく過ごせるような支援をおこなえるようにする。
成果：なし
内容：制度に則った適切なサービス提供ができる
結果：9月、3月に内部監査の実施。10月に愛知県実地指導が入り、整備が必要な事項等指摘を受け、改善をおこなう。
成果：定期的な内部監査と、愛知県実地指導を受け、常日頃から制度を理解し整備する内容を整理した。勤務形態一覧表等、毎月作成するものは作成日、確認日を決めて不備がないようにした。

**３．組織の活性化**
内容：業務の効率化を行うことで、利用者のためになること（支援具作成、打ち合わせ）に時間を割き、サービスの質の向上につなげる
結果：1社、アプリの説明を受けたが、導入することで業務の効率につながることが見込めず導入を見送り。次年度、3社候補を挙げ、説明と1か月トライアルをおこなって選定と導入をおこなう。
成果：日中活動支援部のGoogleアカウントを作成。どこにデータがあるか分からない、WordやExcelの資料がどのデータが最新のものか分からない等の課題を解消できた。

**４．人材の採用、育成、定着**
なし

**表彰・メディア掲載・取材等**
Yahoo!ニュース
1)4月25日　「【蒲郡市】「じばカフェ・〇〇すぎるパン屋」で美味しすぎるクッキー発見！「ABCDEfG～」のクッキー」

**事故・苦情・要望等（時系列）**
1)車両事故（リースキャラバン）
4月18日　該当者：非常勤職員（禄兵衛）
内容：ゲンキー三谷店から道路に左折する際、リースキャラバンの左側をぶつける。左後ろのブレーキランプ、左後ろのホイール、タイヤ、左側スライドドアが損傷。
2)ヒヤリハット
5月13日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：不穏な利用者の行動に注意した利用者に対し、足蹴りや靴を投げて足を怪我させてしまう。
3)クレーム
6月6日　該当者：正規職員（禄兵衛）
内容：自主通勤の朝の受け入れについて、共有不足によるクレームを保護者よりいただく。
4)ミス
6月10日　該当者：八兵衛
内容：ABCDEfGクッキーのエアレジの値段設定が誤っていたことに気づかず、販売を続けていた。
5)事故
7月1日　該当者：非常勤職員（禄兵衛）
内容：個人の判断で法人に確認無しで知人を連れて見学対応。利用者の個人情報流出。
6)備品破損

7月17日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：車内待機中に利用者が車検証入れを取り出し破って口に入れてしまう。
7)車両事故（リースキャラバン）
8月1日　該当者：非常勤職員（禄兵衛）
内容：事務所前駐車場にリースキャラバンを駐車する際に右後ろを損傷。
8)事故
9月11日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：他利用者にからだがあたって転倒し、左手首を骨折。
9)事故
10月9日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：送迎車内で怒った利用者が他利用者の左手甲に噛みつく。
10)車両事故（リースキャラバン）
10月15日　該当者：常勤職員（禄兵衛）
内容：朝の送迎で、左折時にリースキャラバンの後方左ドアを住宅の玄関ブロックへぶつけてしまった。
11)ヒヤリハット
11月14日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：禄兵衛から休兵衛に拒否があり、気分転換に散歩をしたが、自宅に向かって走ってしまい、自宅に籠って出てこれなくなってしまう。
12)クレーム
11月19日　該当者：八兵衛
内容：外部販売で購入したチョコ味のシフォンケーキにカビが生えていたとお客様からのクレーム。
13)ヒヤリハット
2月26日　該当者：利用者（禄兵衛）
内容：拠点を抜け出し、歩いてゲンキー、精文館に1人で行ってしまう。

事業部名：相談支援部
＜利用実施内容＞
利用日時：月曜日から金曜日の 9:00～17：00。
支援対象地域：蒲郡全域。（幸田町、豊川市御津町、西尾市幡豆町にもケースあり。）
支援対象者：身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病等対象者

4月～9月

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 29 | 35 | 28 | 44 | 36 | 35 |
| 予算 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 |
| 実績 | 581,126 | 709,535 | 570,480 | 849,509 | 784,868 | 671,221 |
| 差額 | △218,874 | △90,465 | △229,520 | 49,509 | △15,132 | △128,779 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 32 | 35 | 29 | 40 | 45 | 36 | 424 |
| 予算 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 800,000 | 9,600,000 |
| 実績 | 681,298 | 706,913 | 599,249 | 875,183 | 849,390 | 778,041 | 8,656,813 |
| 差額 | △118,702 | △93,087 | △200,751 | 75,183 | 49,390 | △21,959 | △943,187 |

**※そのほか市からの委託収入3,630,000**

**１．サービス提供方針：**私たち相談支援楽翔は、「お子さんのころからかかわりを持ち、切れ目のない支援を行う」「ないサービスや支援は生み出す」「支援の輪を地域に広げる」を軸に、ソーシャルワーカーとしての担いが全うできるよう安定した相談体制とスキルアップを行い、信頼のある事業所となります。

**２．ガバナンスの強化**
該当なし

**３．組織の活性化**
内容：児童分野においてライフステージごとにおける相談内容に適切に助言し保護者や利用者が頼れる体制づくりの基礎が身につく
結果：児童相談について学びたいこのワークおよび企画書の作成までは実施したが、研修自体は未実施。項目にあがっていた不明点は個別で機関へ問い合わせたり、別途会議での情報共有で解決したものもあった。
成果：抱えている件数と、人員とのバランスがとり切れていない現状があり、採用した人員の育成を優先したたため計画した研修は未実施。次年度は1年で行おうとしていた計画を2年に分け、確実に実施を行うこととする。
内容：まずは地域を理解することで、地域の中で主要となるかたとの顔のみえる関係性への土台作りが行える
結果：人材育成を優先し未実施。
成果：未実施のため成果は無し。次年度、まずは福祉サービスではないインフォーマルな支援について情報を集めたり、現状では解決できない利用者のニーズを集め、足りない資源に対して提案できる準備を行う。

**４．人材の採用、育成、定着**
**①採用**
内容：子育て経験や児童分野に精通した人材の確保により児童分野の相談体制が整う
結果：非常勤職員1名採用。高齢分野の経験者だが、現在子育ても行っている。令和7年度に相談支援専門員の資格を取得予定。
成果：まだ育成段階のため、児童分野の強化が行えたわけではないが、今後育成を行い児童相談の強化につなげる。
**②育成**

内容：職員の成長段階に合わせて学びが行える環境がある
結果：新規採用2名の直接同行の育成が中心となり、研修の確立には至らなかった。
成果：利用者さんの思いを形に変えるために、新入社員はもちろん、現在の職員にも学びになる育成環境を整えていく必要がある。人材成長支援プログラムに即した研修などの整備を検討する。

**③定着**

内容：職員の相談体制および相談援助の資質が向上し、心理的負担の軽減につながる
結果：朝礼および会議を実施し、困難ケースの同行、日々の聞き取りなどを昨年度よりも意識して実施してきた。
成果：ケース検討の回数を増やす想定だったが、準備等が追い付かず、予定通りの回数の実施は難しかった。ただ、回数が多ければよいというより、困ったときなどタイムリーに話していけることの方が重要であることに気づけた。

**表彰・メディア掲載・取材等**

1）なし

**事故・苦情・要望等（時系列）**

1）車両事故
月　　日：9月6日　　該当者：正規職員
内　　容：楽笑モール右折で出発の際に右後輪のホイールが縁石に当たり、擦ってしまった。
2）車両事故
月　　日：8月28日　　該当者：正規職員
内　　容：駐車の際に左右センサーが切れており、乗車中では目視できなかった左前方をブロックにあててしまった。

事業部名：短期入所支援部
＜利用実施内容＞
利用日時 15 時 30 分～翌朝 9 時 ただし法人全体のお休みや研修に伴いお休みとなることもある。
年間開所日数 294 日(宿泊回数147回)

4月～9月

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 98 | 90 | 96 | 86 | 85 | 91 |
| 予算 | 833,398 | 833,398 | 833,398 | 833,398 | 833,398 | 833,397 |
| 実績 | 920,091 | 811,263 | 899,921 | 812,352 | 808,126 | 853,428 |
| 差額 | 86,693 | △22,135 | 66,523 | △21,046 | △25,272 | 20,031 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 104 | 88 | 98 | 94 | 91 | 117 | 1,138 |
| 予算 | 833,397 | 833,397 | 833,397 | 833,397 | 833,397 | 833,397 | 10,000,769 |
| 実績 | 956,182 | 824,102 | 899,673 | 810,850 | 835,206 | 1,147,647 | 10,578,841 |
| 差額 | 122,785 | △9,295 | 66,276 | △22,547 | 1,809 | 314,250 | 578,072 |

※実績値には処遇改善加算込み

**１．サービス提供方針：**私たち短期入所支援部は支援者がお子さんから大人の利用者に支援を提供するにあたり、年齢や障害特性に配慮し、温かく安心できる宿泊の機会となるような環境づくりを行います。職員と利用者またはその家族が安心して宿泊の時間が過ごせるよう、生活に必要な支援技術を身に着け、双方が安心して宿泊できる体制づくりや人材育成を行っていきます。

**２．ガバナンスの強化**
内容:支援員がアセスメントシートを基に安心して夜間支援ができる
結果:3名アセスメントシート作成。
成果:googleフォームでアセスメント情報を収集。検証として確認は行えていたが、初めて入る方がアセスメントシートを基に支援の場がなかったため、実用性があるのか検討まで至っていない。ただし、常勤支援員は情報が最新のため、見返す事で夜間安心して支援できた。

**３．組織の活性化**
内容：会議の中でPDCAを行い常に情報を支援員同士で把握し、支援ができている
結果：共有ツールに10件の情報から会議の議題でPDCAを実行
成果：1名の利用者様の課題を会議で検証し現場実践、その振り返りまで行え、現場課題の解消となった。

内容：不足している知識・スキルを身につけ、学んだことを支援で実践、OJTできる
結果：強度行動障害外部コンサル研修の実施（日中と同様）
成果：短期入所の支援で対象利用者さんの実践は支援ツールの活用がなく成果としては検証対象無し。

内容：利用者の変化を共有することで、放デイと短期入所の共有ができている
結果：宿泊前の情報から慌てが多い、表情が硬いなど夜間の支援中に事前に共有が出来ている事で宿泊者の安心につながった。また千兵衛の新規の方が多かったため、千兵衛職員のサポートが大きな安心になった。
成果：スプレッドシートに千兵衛の様子を残しておくことで、次回宿泊する支援員の情報となった

**４．人材の採用、育成、定着**
**①採用**
内容：非常勤職員の採用
結果：早朝に固定で1名獲得できた事で、人員配置と支援員不足の解消。
成果：早朝非常勤1名獲得（2024年12月退社）

**②育成**
内容：新規職員の育成計画や育成手順の見直しをする。

結果：育成マニュアルを使用し、育成開始。
成果：育成マニュアルの見直しするべき点が明確になり、来年度マニュアルの修正を行なえる
**②定着**
内容：職員の心身のリフレッシュを図る
結果：虐待0件、事故1件、ヒヤリハット0件、ミス2件、食事会3回開催

**表彰・メディア掲載・取材等**
なし

**事故・苦情・要望等（時系列）**
1） 車両事故
特になし
2）事故
3月14日　該当者：正職員　事故
内容：身体介助が必要な方がベットから転倒。
3:00頃、トイレに行きたいと呼びベルを鳴らすが、誤作動で受信機が反応せず、対応が遅れた。その間に、利用者様が自らベットから床に移動する際に転倒。近くにあった机、テレビに顔と手をぶつけてしまい軽傷。
その後、ベルの作動確認をお泊りを行う支援員が毎回確認。作動がしない場合は、すぐに報告とする。

3）ミス
7月4日・7月18日　該当者：管理者
内容：親御さんに泊まる日程が届いておらず、混乱を招いた。
配布物の中に宿泊日をご本人に渡していたが、親御さんに届いていなかった。
その後は、親御さんに直接渡すなど対応を行なった。現在では紙ベースではなく、LINEofficialを活用し連絡を取り合い、記録に残るようにしている。

事業部名：キッズサポートセンター千兵衛’sインク
＜利用実施内容＞
利用日時：平日　月曜日から金曜日の14：00～18：00。休日　月曜日から金曜日の9：30～15：30
年間稼働総日数　252日

4月～9月

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 119 | 135 | 150 | 152 | 137 | 160 |
| 予算 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 |
| 実績 | 1,564,546 | 1,105,922 | 1,213,724 | 1,365,476 | 1,220,783 | 1,333,705 |
| 差額 | 339,546 | △119,078 | △11,276 | 140,476 | △4,217 | 108,705 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 160 | 156 | 148 | 146 | 144 | 158 | 1,765 |
| 予算 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 1,225,000 | 14,700,000 |
| 実績 | 1,327,299 | 1,277,387 | 1245,048 | 1,485,964 | 1,448,317 | 1,651,014 | 16,239,185 |
| 差額 | 102,299 | 52,387 | 20,048 | 260,964 | 223,317 | 426,014 | 1,539,185 |

※実績値には処遇改善加算込み

１．　サービス提供方針：「私たちキッズサポートセンター千兵衛’s インクは、色んな学校や学年の子との関わ
りから、周りの子と話し合ったり自分で決めたりしたことをやる経験を通し、自主性や自己肯定感が育つ場所にする。」

2. ガバナンスの強化
1）利用者の特性に合わせた支援の提供
内容：制度に基づく適切な運営管理と支援の提供が行われる。
結果：5領域に沿った個別支援計画、プログラムを実施。プログラムの内容も、スタッフ間で検討・デモを行い、実施する事で、安心して支援の提供ができるようにした。
成果：見通しを持ってプログラムを策定することができ、子どもにも職員にも分かりやすく活動を実施することができた。
内容：自分や他人の心や体の知識を身に着け望ましい行動選択ができるようになる。
結果：余暇支援で性教育の講習を実施。子ども達にも分かりやすく専門的なお話をしていただいた。
成果：前回の反省を活かし、参加者のレベルに合わせた話の内容で実施する事ができた。

2)保護者との関係作り、保護者支援
内容：様々な場面での利用者の姿を理解し、成長に合わせた個別の支援が提供別の支援が提供できる。
結果：10月2日保護者交流会実施。インクでは、プログラムやHUGの説明をする時間も設けた。ユニバが日中の見学に行っていたのを知った保護者から「行きたい」と申し出がありユニバと一緒に対応した。
成果：年1回開催にした事で、余裕をもって準備をしていく事ができた。HUGの説明も入れた事で、保護者が日頃感じていた疑問にも答える事ができた。4名しか参加ができなかったので、次回は複数候補日を設けるなどしたい。また、これなかった保護者からも日中の見学に行きたかったとの声もあった為要検討。

3)地域交流
内容：千兵衛マルシェを開催し、地域の方や保護者を招いて販売・交流した。
結果：11月9に実施。子ども達と作った野菜や、陶器・マグネット等の雑貨を販売することができた。
成果：たくさんの方に来ていただく事ができ、支出を差し引いて、16199円の収入を得た。子ども達にお菓子やおもちゃ等を買って還元した。自分の作った物が実際に売れたり、製品づくり・販売を通して、働く体験やボランティア・地域と関わる経験になった。継続したい。

3.　組織の活性化

1)円滑なサービス提供につなげるための職員間の連携

内容：支援力の向上

結果：　強度行動障害のコンサルを隔月（月1回だがユニバと交代で出る）行う。職員が話を聞きやすい時間で、2名以上のスタッフで参加することができた。

成果：強度行動障害とまではいかない子どもが多いが、アセスメントや氷山モデルなどの考え方を支援に落とす事ができた。経験豊富な先生に聞ける機会が安心につながったが、強度行動障害の研修を受けたスタッフも増え、自分たちで解決できるようなチーム支援をしていきたい。

内容：職員間で活発な議論を行って支援に反映できる仕組みづくり

結果：職員の退勤時間がバラバラになる事から、全員揃っての朝礼を毎日実施した。

成果：あとから振り返って見れるように、毎回Googleスプレッドシートで議事録を作成。自分たちの忘備録にもなり、支援や事務に抜けがなくなってきて、共有方法として定着した。

4. 人材の採用、育成、定着

①採用

1）学生とのつながり

内容：ボランティアや就職先として、選択する学生がいる

結果：マルシェで蒲郡高校にチラシを配布し、学生のボランティアが6名来てくれた。

成果：事前の打ち合わせをしてから、当日を迎えた事で、動きや想いのすり合わせはする事ができた。蒲郡高校の先生と直にやり取りができた事で、学生とすぐに繋がれたが、証明書の発行目的の子もいて、継続しての関わりは難しかった。次年度も継続して誘っていくが、学生側の参加するメリットをこちらも提案したい。

内容：中途の職員を採用でき、安定した運営ができる。

結果：R6年度中に、中途の職員は非常勤・常勤ともに採用できなかった。

成果：2週間に1度を目安にインスタ投稿をした。職員で分担して投稿をし、1月にはリール動画を広告に出した事で、3万人にリーチする事ができた。その時期に2名見学に来た（うち1名はユニバでR7年度採用）。保育士バンクのサイトもそこから閲覧数が増えたが、採用には結びつかず。次年度、別の手段を考える。

②育成

1）職員が役割を理解し責任もって仕事をする仕組みづくり

内容：職員が役割を理解し責任持って仕事をしている

結果：人材成長支援プログラムを全員に実施。必要な書類や業務の可視化をし、全員が仕事の意味や役割を理解して取り組めるようにした。

成果：10月監査もあった事で、管理者以外にも書類の整備や作成の視点を伝える事ができた。なんのためにその仕事をするのかの理解が深まった。インクは職員だれでも書類の整備ができるように伝達中。

内容：法人内の人材育成に関する取り組みの仕組みが確立し、適切に運用されている。

結果：上記と同様に、人材成長支援プログラムを非常勤にも実施した。

成果：これまで非常勤の方々の仕事量と給与に評価をつける事ができていなかったが、導入した事で、評価をできるようになった。改めて役割や本来してほしい部分も伝えていくことができる機会となった。まだ、本格的には使いこなせていないので、今後定着させていきたい。

③定着

内容：IoT、ICTの積極的な導入による作業の効率化と事務作業の見直し

結果：HUGの運用を継続。管理・請求業務にかかる手間は削減。お便り等もHUGやLINEで配信とした。

成果：利用時間や送迎、実費負担等、間違いの多かった項目が千兵衛・総務と一括でHUGを使う事で、ミスは減り、修正等もしやすくなった。勤務形態一覧表などもある程度作成できたり、モニタリングや受給者証更新の時期も管理できる事で、事務の負担は軽減し、管理者以外でも担える業務が増えた。お便りも配信にした事で、印刷や手渡しの手間を削減できている。

表彰・メディア掲載・取材等

1）該当なし

**事故・苦情・要望等（時系列）**

1） ヒヤリハット

月　　日：9月28日　　該当者：利用者

内　　容：食器洗い中に包丁で怪我をする

2） 事故

月　　日：10月10日　　該当者：利用者

内　　容：部屋の中で転んで、左手の小指を打撲

3） 事故

月　　日：12月20日　　該当者：利用者

内　　容：水竹公園の自転車型の遊具のタイヤに指を挟まれてしまう

事業部名：キッズサポートセンター千兵衛’sユニバ
＜利用実施内容＞
利用日時：平日　月曜日から金曜日の14：00～18：00。休日　月曜日から金曜日の9：30～15：30
年間稼働総日数　254日

4月～9月

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 217 | 202 | 189 | 195 | 181 | 206 |
| 予算 | 2,120,834 | 2,120,834 | 2,120,834 | 2,120,834 | 2,120,833 | 2,120,833 |
| 実績 | 2,354,593 | 2,169,099 | 2,020,913 | 2,224,948 | 2,206,988 | 2,230,584 |
| 差額 | 233,759 | 48,265 | △99,921 | 104,114 | 86,155 | 109,751 |

| | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 延べ利用者 | 206 | 194 | 188 | 177 | 172 | 198 | 2,325 |
| 予算 | 2,120,833 | 2,120,833 | 2,120,833 | 2,120,833 | 2,120,833 | 2,120,833 | 25,450,000 |
| 実績 | 2,204,669 | 2,091,315 | 2,012,669 | 1,897,559 | 1,832,269 | 1,873,419 | 25,119,025 |
| 差額 | 83,836 | △29,518 | △108,164 | △223,274 | △288,564 | △247,414 | △330,975 |

※実績値には処遇改善加算込み

**1. サービス提供方針：**「私たちキッズサポートセンター千兵衛’s ユニバは、年齢や発達段階に合わせた専門的な支援を基に、集団で過ごすことを通して、同世代や年齢が違う子との関わりから人間関係の構築や自己肯定感が育つ場所にする。」

**2. ガバナンスの強化**

1）利用者の特性に合わせた支援の提供

内容：制度に基づく適切な運営管理と支援の提供が行われる。
結果：5領域に沿った個別支援計画、プログラムを実施。プログラムの内容も、1年間通して考える事で、見通しや担当を割り振り、計画的に実施できた。
成果：イベントや長期休暇なども考慮して活動を組んだ事で、無理なく行うことができた。5領域との繋がりやレベル別の工程等を考えて準備することができた。実施した反省も踏まえ、次年度に引き継げるものが増えた。

内容：中高生で就労に向けた練習や経験を積み、進路選択のイメージを持ちやすくする
結果：学校で校外実習に行かない中3、高1の利用者を中心に選定し、2名日中での実習を半日実施。
成果：校外実習に行く手前の利用者を選定した事で、学校で実習先を考える際の手掛かりとしていただけた。実習に行く人や日数はかなり絞ってしまった為、2～3年生でももっと行く回数を増やしたいとう利用者のニーズには対応できなかった。また、禄兵衛を希望する利用者が学校の校外実習で来た際に、支援が上手く行かずに半日で帰宅してしまうケースもあった。将来、移行していくという視点も踏まえて、次年度の実習時期や回数、人数等は日中や相談も含めた法人全体で検討する。

2)保護者との関係作り、保護者支援

内容：様々な場面での利用者の姿を理解し、成長に合わせた個別の支援が提供できる。
結果：10月2日に保護者交流会を実施。7名の方が参加していただける。
成果：日中への見学を入れた事で、普段は欠席しがちな保護者も来ていた。先輩ママを毎回呼ぶが、頼り切ってしまうのも良くないので、バランスを考えたい。人数的にはまだ参加は少ないので、次年度は候補日を多く設定したりしていこうと思う。

3)地域交流

内容：地域における子どもの社会経験・交流の幅を広げていく
結果：インクと同様
成果：インクと同様

**3.　組織の活性化**

1)円滑なサービス提供につなげるための職員間の連携
内容：支援力の向上
結果：強度行動障害のコンサルを隔月（月1回だがインクと交代で出る）行う。職員が話を聞きやすい時間で、2名以上のスタッフで参加することができた。
成果：担当のケースと、資料を用意した上で、緊急的な困難ケースの相談もできた事で、自分達だけでは行き詰まってしまった支援の解決策を考える事ができた。インクと同様に、資格保持者が増えてきたので、自分たちのチーム力で解決できる部分を次年度増やしたい。
2)職員間で活発な議論を行って支援に反映できる仕組みづくり
内容：職員間で支援の共有や統一した支援を行うことができる
結果：支援者会議でのケース検討や、日々の終礼等で話し、支援日報やケア記録に書くことができている。
成果：非常勤の方へも日報を翌日に印刷しておく事で、共有ができている。支援についても、毎回担当から伝達できている。HUGの日報に入力しているので、インクのようにGoogleスプレッドシートで議事録までは残せていないが、休みの伝達や業務の共有事項など忘れがちな内容も口頭で話しているので、重要事項だけでもスプレッドシート等に残して抜けがないようにしていきたい。

## ４．人材の採用、育成、定着

### ①採用

1）学生とのつながり
内容：ボランティアや就職先として、選択する学生がいる
結果：インクと同様。プラスして、蒲郡東高校から、継続的にボランティアに来てくれる子も1名できた。
成果：インクと同様。継続的なボランティアや、繋がった大学生などに、継続的にアプローチをする。
内容：中途の職員を採用でき、安定した運営ができる。
結果：インクと同様。
成果：インクと同様。

### ②育成

1）職員が役割を理解し責任もって仕事をする仕組みづくり
内容：職員が役割を理解し責任持って仕事をしている
結果：インクと同様。
成果：10月監査もあった事で、管理者以外にも書類の整備や作成の視点を伝える事ができた。なんのためにその仕事をするのかの理解が深まった。ユニバはまだ、勤務形態やシフトなどは管理者が作成しているが、少しずつ仕事の棚卸をしていきたい。
内容：法人内の人材育成に関する取り組みの仕組みが確立し、適切に運用されている。
結果：インクと同様。
成果：インクと同様。

### ③定着

内容：IoT、ICTの積極的な導入による作業の効率化と事務作業の見直し
結果：インクと同様。
成果：インクと同様。

**事業部名：子ども第三の居場所ロッケンハウス**

＜利用実施内容＞

利用日時：平日　水曜日から金曜日の放課後～19：00。

年間稼働総日数　159日　延べ人数2277人　平均人数14.3

社会とかかわる力、生活習慣、学習習慣など将来の自立に向けて、探求する力、生き抜く力をはぐくむことを目的とし、サービスの安定化に向けて、様々な活動プログラムを試行した1年だった。

蒲郡市役所子育て支援課、学校教育課との連携も良好であり、子どもたちの居場所の土台をつくる1年としては、学生ボランティアも含め、多くの協力関係を構築することができた。

主なイベント

・長期休み（夏休み・冬休み）の宿題会

　　桜花学園高等学校インターアクト部の学生による学習支援会

・お絵描キットパス

　　MACによる拠点正面のガラス面の絵画教室

・保護者と共に創り上げるロッケンナイト

　　保護者と一緒に準備と設営を行い、親子のかかわりを増やすことも目的とした夏祭り

総事業費　　7,312,657円

助成金額　　7,200,000円（公益財団法人日本財団）

**表彰・メディア掲載・取材等**

1)なし

**事故・苦情・要望等（時系列）**

1）ヒヤリハット

月　　日：6月22日　　該当者：利用者

内　　容：利用者の左頬に腕時計が接触する

2）事故

月　　日：7月26日　　該当者：運転手

内　　容：ステップワゴンの右後ろをカーブミラーにぶつける

3）備品破損

月　　日：7月29日　　該当者：正規職員

内　　容：事務所内の掛け時計が落下して壊れる

4）事故

月　　日：8月21日　　該当者：運転手

内　　容：ノアを運転中、道路端に寄りすぎて、左ミラーを木に擦る

5）ヒヤリハット

月　　日：8月27日　　該当者：利用者

内　　容：送迎車内で待機中に、他利用者に腕をつねられてしまう

5）備品破損

月　　日：10月22日　　該当者：正規職員

内　　容：ラミネーターで支援具の作成中に、粘着面がローラーに付着してしまう

6）備品破損

月　　日：10月30日　　該当者：正規職員

内　　容：立てかけた長机が倒れて、セレナ左後部ドアに傷をつける

7）備品破損

月　　日：11月18日　　該当者：運転手
内　　容：入庫中に渡り廊下に出してある車椅子スロープを車で踏んでしまう
8)　ヒヤリハット
月　　日：12月7日　　該当者：利用者
内　　容：公園からの帰りにノア後部座席のドアに手を少し挟まれてしまう
9) ヒヤリハット
月　　日：12月12日　　該当者：利用者
内　　容：学校帰りの送迎車内で職員への噛みつきがある
10) ヒヤリハット
月　　日：3月7日　　該当者：利用者
内　　容：短期入所移動時に不穏になった利用者が暴れ、指が職員の目に入る
11) ヒヤリハット
月　　日：3月21日　　該当者：利用者
内　　容：利用児が他利用児にまたがり、顔をひっかいてしまった

※社会福祉法第45条の27　第2項、社会福祉法施行規則第2条の25　第3項及び社会福祉法人楽笑　定款第34条第1項第2号に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。